

# 注目

平成15年4月から2年間にわたり活動してきた今期のモニターさん。3月14日に開催された最後のモニター会議の中で、2年間の感想や反省について話し合われました。今回は、その様子をお伝えします。

## モニター座談会〜2年間の活動を通して〜

### モニター通信について

モニターさんから月一回程度、市政に対する疑問や提案を提出していただく「モニター通信」。いただいた提案については、それぞれ市から回答を送付しました。主な提案については、市のホームページでご覧になれます。

▼通信に関しては、どこまでの内容を書いていいものか分からない部分があったが、市長から率直に思ったことを書いてくれればよいと言われ、自分の思いを素直に書いた。

内に掲載しました。

▼今回は、最初の一年目で教育や介護などそれぞれが関心を持った分野に複数のモニターがグループで担当したが、これは、モニター同士の横のつながりを持つきっかけにもなった。

▼また、今期のモニターのページについては、「バス問題」が市議会を取り上げられたり、周囲からも賛同を得たりと、たくさんの反応があった。

▼ただ、モニター通信と同じように、広報紙で取り上げたその後がどうなったのかという点については、十分チェックできなかつたことが悔やまれる。

例えば、「駐車場問題」についても、その後の市役所の対応については、後追い取材などをしているけれど、もっと市民の皆さんに関心を持って読んでいただけたのでは。

▼それから、このページ宛に感想などのお便りをいただくこともあり、大変ありがたく思う。匿名でなくいただいたものについては、私たちがもきちんとお返事をしていき

たい。本当にありがとうございます。

## 2年間の活動を通して

▼モニターは、ただ提言や質問を市に対してぶつけるだけでなく、その活動を通して個人として市政に関心を持ち、身近に感じることを自体に大きな意義があることを知った。

その点で、島地部視察や陸地部視察などに参加して、笠岡市のことをより深く知ることができたし、市政について勉強することもできた。2年間モニターを経験したおかげで視野が広がり、やってよかったと思っている。

▼活動をしていく中で、特に島の視察では、島民の皆さんが支え合いながら生活している姿を見て、感銘を受けた。それからは、自分の地域でもできるだけ支え合いながら生活することを心がけた。こうしてモニターとして勉強し

たことを地域や社会で実践していくこともひとつの活動の成果だったと考える。

▼ただ、活動の中で消化しきれないものがいくつあった。これで、モニターとしての任期は終わるが、モニター経験者として、市政への参画や、協働のまちづくりの推進のために、これからOB会のようなものを自主的グループとして立ち上げて、笠岡市の発展のために活動していきたい。



このページのご意見・ご感想をお待ちしています。また、「市政についての質問・提言」などがあれば併せてどうぞ。お便り：〒七一四一八六〇一 笠岡市中央町一―

まちづくり推進課モニター係

☎ 21110 ㊟ 2180